



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 日清医療食品
 コード番号 4315 URL <http://www.nifs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田清和
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 織田和彦
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL 03-3287-3611

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	50,115	—	3,445	—	3,569	—	1,923	—
20年3月期第1四半期	48,059	3.7	3,310	8.9	3,386	8.4	1,828	10.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	26.87	—
20年3月期第1四半期	25.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	86,843	844.33	60,452	604.52	69.6	844.33	844.33	
20年3月期	88,717	840.83	60,201	602.01	67.9	840.83	840.83	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 60,452百万円 20年3月期 60,201百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成20年3月期期末配当の内訳 特別配当 5円00銭

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	101,500	—	6,160	—	6,170	—	3,200	—	44.69
通期	203,000	49.0	12,000	16.7	12,150	17.2	6,300	27.3	87.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 71,640,000株 20年3月期 71,640,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 42,227株 20年3月期 42,327株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 71,597,740株 20年3月期第1四半期 71,598,383株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月21日発表の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想は修正しておりません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、原油価格や穀物をはじめとする国際商品市況の高騰や円高・ドル安による企業収益の減少、個人所得の伸び悩みや物価上昇により個人消費も減少し、景気の減速感が強まる展開となりました。

このような状況のもと、当社グループは「お客様の信頼と満足を得る心のこもった食事サービスを提供する」を経営の基本方針とし前期よりスタートした第6次中期経営計画の目標を達成すべく、ES（従業員満足度）・CS（顧客満足度）の向上を中心とした事業展開を進める一方、厳しい環境を乗り越えるため食材仕入価格の高騰による減益要因を抑制すべく仕入業者の見直しや受託契約単価への転嫁による収益維持確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の営業成績につきましては、新規獲得件数が当社で179件、連結子会社で105件、併せて284件（前年同四半期比69件減少）となりました。一方解約につきましては、当社で44件、連結子会社で12件、併せて全体で56件（前年同四半期比1件増加）となりました。当第1四半期連結累計期間末における事業所数は、当社が4,176件、連結子会社が1,695件、併せて5,871件（前年同四半期比213件増加）になり計画通り順調に推移しました。

以上のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、501億15百万円になり、営業利益は、34億45百万円、経常利益につきましては、35億69百万円、四半期純利益は19億23百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は868億43百万円となり、前連結会計年度末と比べ、18億74百万円の減少となりました。主な内訳は、現金及び預金の残高が246億50百万円となり、前連結会計年度末と比べ、28億79百万円減少し、受取手形及び売掛金の残高が225億34百万円と前連結会計年度と比べ、6億91百万円増加しました。また、固定資産の残高は334億45百万円となり前連結会計年度と比べ、82百万円増加しました。負債の残高は、263億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ、21億25百万円の減少となりました。主な内訳は、未払法人税等が16億52百万円減少によるものであります。

純資産の残高につきましては、利益剰余金1億33百万円増加およびその他有価証券評価差額金117百万円減少により604億52百万円になり、前連結会計年度末に比べ、2億51百万円の増加となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は245億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億99百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動により減少した資金は4億50百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益35億46百万円、売上債権の増加額6億91百万円、役員退職慰労引当金の減少額3億22百万円、未払消費税等の増加額4億96百万円、賞与引当金の減少額8億69百万円、法人税等の支払額31億86百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は6億96百万円となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出6億72百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は17億52百万円となりました。これは、主に配当金の支払額17億52百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、原材料価格の上昇や景気の動向など不透明な要因が続くと予想されますが、当第1四半期連結累計期間の業績が、厳しい経営環境において概ね順調に推移いたしましたことから、平成20年5月21日に発表しました業績予想数値に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。なお、この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,650	27,530
受取手形及び売掛金	22,534	21,842
有価証券	2,000	2,000
原材料及び貯蔵品	1,699	1,705
繰延税金資産	1,790	1,790
その他	765	525
貸倒引当金	△42	△39
流動資産合計	53,398	55,355
固定資産		
有形固定資産	3,077	3,192
無形固定資産		
のれん	5,036	5,231
ソフトウェア	717	138
ソフトウェア仮勘定	436	995
その他	319	319
無形固定資産合計	6,509	6,685
投資その他の資産		
投資有価証券	4,088	3,890
長期性定期預金	11,916	11,876
前払年金費用	4,228	4,089
その他	3,907	3,966
貸倒引当金	△282	△338
投資その他の資産合計	23,858	23,485
固定資産合計	33,445	33,362
資産合計	86,843	88,717

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,191	10,161
短期借入金	200	200
未払法人税等	1,693	3,346
賞与引当金	2,291	3,160
役員賞与引当金	11	45
その他	9,667	9,130
流動負債合計	24,055	26,044
固定負債		
繰延税金負債	774	696
退職給付引当金	816	804
役員退職慰労引当金	96	418
その他	648	551
固定負債合計	2,335	2,471
負債合計	26,390	28,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,971	3,971
資本剰余金	4,463	4,463
利益剰余金	52,382	52,248
自己株式	△83	△84
株主資本合計	60,732	60,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△280	△397
評価・換算差額等合計	△280	△397
純資産合計	60,452	60,201
負債純資産合計	86,843	88,717

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

売上高	50,115
売上原価	41,321
売上総利益	8,793
販売費及び一般管理費	
運送費	1,113
役員報酬	136
給料及び手当	1,340
賞与引当金繰入額	400
役員賞与引当金繰入額	11
退職給付費用	39
役員退職慰労引当金繰入額	14
租税公課	108
減価償却費	59
のれん償却費	195
その他	1,928
販売費及び一般管理費合計	5,347
営業利益	3,445
営業外収益	
受取利息	57
受取配当金	0
デリバティブ評価益	39
その他	33
営業外収益合計	131
営業外費用	
支払利息	0
貸倒引当金繰入額	6
その他	0
営業外費用合計	8
経常利益	3,569
特別利益	
貸倒引当金戻入額	62
固定資産売却益	2
特別利益合計	64
特別損失	
固定資産除却損	0
減損損失	87
特別損失合計	87
税金等調整前四半期純利益	3,546
法人税等	1,622
四半期純利益	1,923

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,546
減価償却費	104
減損損失	87
のれん償却額	195
デリバティブ評価益	△39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△869
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△322
受取利息及び受取配当金	△57
支払利息	0
有形固定資産除却損	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	△691
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	30
未払金の増減額 (△は減少)	△0
長期未払金の増減額 (△は減少)	111
未払消費税等の増減額 (△は減少)	496
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△138
その他の資産の増減額 (△は増加)	339
小計	2,719
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△3,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	△450
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△21
有形固定資産の売却による収入	2
無形固定資産の取得による支出	△672
投資有価証券の取得による支出	△0
長期貸付金の回収による収入	12
その他	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△696
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△1,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,752
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,899
現金及び現金同等物の期首残高	27,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,559

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

給食事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額(百万円)
I 売上高	48,059
II 売上原価	39,728
売上総利益	8,331
III 販売費及び一般管理費	5,020
営業利益	3,310
IV 営業外収益	100
V 営業外費用	24
経常利益	3,386
VI 特別利益	3
VII 特別損失	3
税金等調整前四半期純利益	3,386
税金費用	1,557
四半期純利益	1,828

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,386
減価償却費	99
減損損失	—
のれん償却額	215
売上債権の増加(△)・減少額	△802
たな卸資産の増加(△)・減少額	△58
仕入債務の増加(△)・減少額	421
その他	△317
小計	2,943
法人税等の支払額	△2,798
その他	46
営業活動によるキャッシュ・フロー	191
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△0
有価証券及び投資有価証券の償還等による支出	500
金銭信託の償還等による収入	1,000
その他	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,579
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△1,792
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,792
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21
VI 現金及び現金同等物の期首残高	22,856
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	22,834

セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

給食事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。